

# 市政を問う!

# 議案質疑・一般質問

令和4年  
第2回定例会  
**6月**  
**14日**  
**15日**  
**16日**  
**17日**

令和4年  
第3回定例会  
**9月**  
**6日**  
**7日**  
**8日**  
**9日**

**公明党桑名市議員団 森 英一**



**社会情勢の不安について**

**答弁 節** **経済及び生活への対策について**

物価高騰に伴う給食費の負担軽減対策については、既に関係所管に指示をし、検討を進めているところ。経済不安にもしっかりと対応し、市民の皆様、事業者の皆様が、安全・安心を感じられる日常を手に入れることができるよう、アフターコロナに向けたまちづくりを進めていく。

**防災について**

**答弁 節** **人工呼吸器の非常用電源について**

現在本市では補助の対象外となっているが、人命にも関わる重要な課題と捉えている。電力不足や非常時の停電に備えることは、障害のある方が安心して日常生活を過ごせることに繋がるため、今後支援の在り方を検討していきたい。

**重層的支援体制の整備について**

**答弁 節** **重層的支援の具体的な体制は**

相談支援室の名称を福祉支援室に改め、複雑・複合化した事例の支援調整機能である重層的支援会議を担い、また、ひきこもりの相談窓口として、社会福祉士、保健師を含む3名体制に拡充した。

**答弁 節** **ヤングケアラーの支援について**

国の実施するヤングケアラー認知度向上キャンペーンや県が実施する研修と協働して啓発に取り組むとともに、令和4年度実施予定の子供の居場所支援モデル事業において、SNSなども活用しながら気軽に相談できる体制づくりを進めていきたい。

おおた  
太田  
まさと  
誠

**持続可能な農業について**

第3次産業は、コロナ禍において支援施策を講じているが、第1次産業への対策は講じられていない。全国的に米の価格が下落している中、丸亀市では、米農家の支援で米の減収分を補うために現金給付している例もある。農業者への支援について市の見解は。

農作物の販売価格の低下などによる農家の収入減少による影響を緩和するため、青色申告をしている農業者が加入できる公的保険である「収入保険」の制度がある。市としてその活用を強く推奨しているが、昨今のウクライナ情勢により燃料価格が高騰するなど、今までの支援制度では補えない課題もあるため、農業を営む方が安心して生産活動できるよう出来る限りの支援をさせていただく。

「収入保険」は、青色申告が加入要件のことだが、担い手農家を除く一般農家の加入率は？

個人農家の加入率は約2%程度と把握している。

**市長が目指す稼ぐ改革について**

御殿場市では、令和3年12月に市内の3つのゴルフ場にふるさと納税自動販売機を設置して、12月だけで1,000万円を超える寄附が集まつたとのこと。市にも年間1,500万人の観光客が訪れるレジャー施設やゴルフ場もあるが、設置に向けて市の見解は？

今ではショッピングモールやゴルフ場の商品券を自動販売機の中に搭載できるので、大変魅力的なポイントが増えている。設置場所が寄附の増加に直結するため、場所の選定とその利用者の理解を得る必要がある。情報収集を図り検討していく。

桑風クラブ 市野 善隆		
<b>幼保小中サポーター制度について</b>		
質問	公立幼稚園・小学校・中学校のサポーター登録している人数とその保険制度を問う。	幼稚園 89 名、小学校 706 名、中学校 59 名の方にサポーターとして登録をいただいている。また、市教育委員会で 350 円／人のボランティア保険に加入し事故等の場合に備えている。
答弁	保育所では善意によるボランティアとして活動していただいているが、幼小中のようには制度化されてはいない。制度化を強く提案する。	保育所において保育活動・運営等に地域の方々の支援が受けられることは、保育士の負担軽減や園児の安全等の確保には、一つの方策であると考えている。園の立地条件や特性等による課題整理も必要ではあるが、今後保育現場と情報共有を図りながら検討していきたいと考えている。
再質問	私立保育園での導入も考えていただきたい。	保育士負担軽減や子どもを安全に守る環境づくりについては、公立私立で隔たりなく取り組んでおり、今後も引き続き検討していく。
再答弁	認知症高齢者の安全確保について	GPS 機能の活用を問う。
質問	GPS 機能付き機器に対する補助制度は、四日市市・いなべ市・鈴鹿市・津市等、県内自治体で導入されている。認知症高齢者をサポートするケアマネージャー等から問い合わせもある。課題を整理し慎重に検討していきたい。	GPS 機能付き機器に対する補助制度は、四日市市・いなべ市・鈴鹿市・津市等、県内自治体で導入されている。認知症高齢者をサポートするケアマネージャー等から問い合わせもある。課題を整理し慎重に検討していきたい。

	さとう はじめ	未来 佐藤 肇	
<b>福祉ヴィレッジへ移設後の跡地・施設等について</b>			
<b>質問</b>	山崎乳児保育所の存続の有無と開所期間についての計画を問う。		
<b>答弁</b>	<p>現在、利用されている園児が卒園するまで、これまでどおり通うことが出来るとともに、幼児期に育むべき社会性、協調性の醸成に必要な集団による保育を実施する為、受け入れ年齢が単学年のみとならないよう努める。開所期間については、児童数の推移やその時の保育ニーズを踏まえ、検討していきたい。</p>		
<b>質問</b>	桑名市社会福祉協議会事務所（総合福祉会館（現：常盤町））の当該地への移設は？西の『福祉ヴィレッジ』、東の『福祉村』に！		
<b>答弁</b>	<p>総合福祉会館の将来的な在り方について、具体的な内容を検討するには至っていない。今後在り方を検討していくにあたっては、施設をご利用の方々の声を聞きながら、多機能、複合化や公民連携の手法も併せて検討の必要があると考える。</p>		
<b>人口問題について</b>			
<b>質問</b>	将来的な人口推移の考え方と施策の方向性について所見を問う。		
<b>答弁</b>	<p>令和4年2月に総人口が14万人を下回る事態を踏まえ、緊急的に『桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン』を打ち出した。『流入促進』『定着環境整備』『流出抑制』の3つのフェーズに応じた施策をシームレスに進めて行くことで、社会増減、自然増減にしっかりと対応し、人口減少に待ったをかけたいと考えている。</p>		

**中高一貫教育について**  
全国的に公立高校の中高一貫教育が広がりを見せているが、三重県教育委員会の方針に対する市の認識を問う。

県は、現在実施している中高一貫教育の効果の検証や分析を進めている段階で、市としては新たな中高一貫教育の導入計画はない。

**多度小中一貫校整備事業について**

将来の中高一貫教育の可能性や20年後の児童生徒の減少を考えると事業費があまりにも高額。事業規模の見直しをおこなう考えは。

令和4年7月に事業者の公募を開始した。事業者に提示した公募資料については、地域の皆様や教職員の意見を聴き、市が最終的に判断してまとめたものであり、根幹にかかわるような変更は考えていない。

小中一貫校の計画を策定するにあたり、地域の判断で決まったことはないのではないか。準備委員会等でもすでに決まることに対して意見聴取しているだけ。学校再編は地域を含めた全員参加型で行うべき。現在建築資材が高騰していることも考慮し、事業の見直しを行う必要があるのでは。

すでに、計画は遅延しており、多度の子ども達のため一刻も早く完成することを目標にしており、物価高騰はありつつも、早急に進めたいと考えている。

かり や たけ ひと  
仮屋 武人



「桑名大学建設」の検討について

若者の県外・市外への転出が多く、県内・市内企業の労働力不足が深刻である。市内に大学があることにより、市外、県外からも若者がやってくる上、その後の市内企業への就職・定住が期待できる。また、食店、アパートなどの不動産業、アパレルや娯楽設など幅広い産業の発展が見込まれる。さらに、学と行政、地元企業が結びつくことにより、直接的な行政の施策や企業の新しい事業にチャレンジできると考えるが、「桑名大学建設」の検討の考えは、現在のところ具体的な検討はないが、若い世代のく場を確保・創出することで市外からの流入を促すとともに、その若い世代に定着していただき、出を抑制する施策を講じたいと考えている。

人口減少後の市政について

人口を減らさない施策はもちろん大切だが、人口減った時の対応を考える「リスクマネジメント」重要。人口が減り、税収が減り、市役所の職員数減ってもなお、「今以上の満足度」を創り続けて頂きたい。市の見解を問う。

議員の危機感は共有しており、民間が持つアイデヤノウハウを積極的に取り入れると共に、デジタル技術の活用を推進するなど、持続可能なまちづくりを進める努力を積み重ねていくことによって、市の皆様が桑名に“住み続けたい”、“住んでよかった”と思ってもらえるまちづくりを進めていく。

- 議案質疑…  
市長に対し議案の内容や提案の理由などについて、疑問の点や不明な点を問うこと。
- 一般質問…  
議員が本会議で一般事務や将来に対する方針など市政全般について質問すること。

は 905 台。広報  
防災ラジオの啓発  
見込んでいる。緊  
急の方にお届けでき  
る、ラジオ放送を  
TY と連携した才  
く。  
区域内に居住して  
る会社のバスやコ  
ンベントにて、次の 3  
点施設へ避難  
日進・益世の各ま  
ちづくり拠点  
ザへ避難  
島地区市民セン  
ター・長島北部分  
設へ避難  
で行くことが難し  
く協定を各タク  
計画の策定が進む  
るようになれば、  
えている。

未 来 こんどう ひろし 近藤 浩



■ 「AI活用型オンデマンドバス」について

高 | 本格導入の可能性は？

答弁 | 令和4年度は、令和3年度と同様「西部南エリア」で運賃をいただく形で令和3年度より長い3ヶ月間実施する。実証実験で利便性や採算性等を検証し、本格導入に向けた検討を進めていく。

■ 「芸術文化活動の次世代への継承」について

高 | 芸術家の後継者育成と文化振興計画の策定は？

答弁 | 芸術家の後継者育成や文化振興計画の策定については、令和5年6月制定を目指している三重県文化振興条例制定の動向を注視しながら検討していく。

■ 「市民満足度調査」について

高 | 満足度向上のための具体的な施策と予算化は？

答弁 | 「道路」や「公共交通」など、相対的に満足度が低く重要度が高い分野については、重点的に施策を推進し、効果が実感できるよう予算に反映していく。

■ 「救急業務のひっ迫状況」について

高 | 救急搬送困難事案は？

答弁 | コロナ禍の影響による事案は、今年1月から8月までで15件である。コロナ禍においても、救急隊の医療機関への受入照会の平均回数は1.1回で、概ねスマーズな救急搬送ができている。

■ 「若い力を活用したまちづくり」について

高 | 大学生等との連携は？

答弁 | 本市の事業に若者が参画することで、若者ならではの柔軟な発想や新たな価値観、考え方を事業を取り入れることができるのではないかと考えている。

日本共産党桑名市議団 石田 正子



物価高騰に伴う市民・事業者への影響と  
その支援について

答弁 節

収入減となる市民・事業者への支援策は。

国において原油価格・物価高騰等総合緊急対策が策定され、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）が創設されたことを踏まえ、その交付金の活用を視野に物価高騰の対策について検討を進めている。

質問 節

今後の市政運営について

「削る改革」から「稼ぐ改革」へと移行する狙いと具体的な施策は。

答弁 節

歳出の見直しや削減といった「削る改革」が、限界を迎えるため、これからも持続可能なまちとして発展していくために「稼ぐ改革」に舵をきる必要がある。その施策の一つとして、企業立地を現在強力に進めている。

質問 節

「稼ぐ改革」へと移行することに伴う市民サービスへの影響は？

答弁 節

「稼ぐ改革」が市民の皆様の負担を増すことはない。「稼ぐ改革」の一つである企業誘致により得られる固定資産収入は、本市の自主財源として安定的に確保される収入で、「確固たる財政基盤の確立」に寄与される。また、企業誘致によって、新たな雇用が創出され、地域経済の活性化も期待できる。これからも持続可能なまちとして発展し続けるため、必要な財源を確保すべく「稼ぐ改革」を推進していく。

もり した ゆき やす  
森下 幸泰

### 保幼小の連携について

今年の3月に就学前教育の共通カリキュラムが更新されたが、今回の更新に際しタイトルに「公立版」という文言が追加された。公立の小学校には、公立の保育所・幼稚園からだけでなく、私立の保育園や認定こども園からも子どもたちが入学してくるので、カリキュラム以前に、もっと大きく捉えて、桑名市として就学前に「どういう子供になってほしいか、どうやって子供たちを育んではほしいか」というビジョンがないわけはないと思うがどのようにお考えか?

市教育委員会が所管する幼稚園は、桑名市立の幼稚園であり、私立の幼稚園等については、桑名市の就学前教育をともに担うパートナーである。今回の共通カリキュラムの改訂にあたっては、私立幼稚園等へも呼びかけをさせていただいたが、国が示している指針・要領で示されている内容を基に、各園の建学の精神を大切にした保育・教育を進めていきたいとのことで公立版カリキュラムとなった。

ご指摘の桑名市の就学前教育ビジョンについては、現状においては作成されていないので、議員の考えも参考に、子ども未来局とも協議して検討していく。

その他の議案質疑や一般質問は  
こちらから視聴できます。  
ぜひご覧ください。

未来 水谷 憲治		みず たに のり はる
桑名市の産業振興策について		
質問	地場産業振興の為、公共事業における【メイドイン桑名】の積極的な利用促進の考えは？	
답변	市発注工事で使用する材料については、基準を満たしているか確認し承認しているが、出来るだけ市内業者を優先するようお願いしている。今後、工事特記仕様書に資材購入は市内業者優先の事項の記載を検討していく。	
安全・安心なまちづくり		
質問	子ども・高齢者の見守りの取組み強化の考えは？	
답변	現在、高齢者等の見守りについては、新聞や牛乳販売店、宅配弁当等の訪問系事業者や金融機関、コンビニ等計 123 の事業者と見守り協力協定を結んでいる。当初は、高齢者を対象とした協定であったが、地域共生社会実現に向け子どもや障がい者もその対象としている。今後はご協力頂ける企業等を増やしながら、行政と地域の団体や企業が一緒になって、子どもや高齢者が安全安心に過ごせるまちづくりに取り組んでいく。	
小中一貫事業に伴う課題について		
質問	廃校（閉校）後の跡地について、地域住民との話し合い・検討の機会等今後の取り組みは？	
답변	現在、教育環境再構築プロジェクト担当を中心に学校跡地の活用方針や、地域住民との合意形成の進め方など府内各部局と協議を進めている。出来るだけ早い時期に地域住民との意見交換、合意形成に向け丁寧に対話を進めて行きたい。	

**質問** **NTN 総合運動公園について**

**答弁** 総合運動公園内の各施設を繋ぐ園路整備の意向は、未整備施設の計画とともに動線を考慮し、議員提案の内容も含め、利用者の方々の利便性ならびに安全性が確保された園路となるよう、整備を進める。

**質問** 各スポーツ施設への専用管理棟設置の必要性をどのように考えているのか。

**答弁** 総合運動公園整備事業は、現在も計画に沿って整備を進めている最中である。先ずは、計画に沿って整備を進めていきたい。今後は、利用者のご意見、議員の指摘も踏まえ、新しい整備をしていく施設と共有することも視野に入れ、施設整備を進める。

**質問** 国への設計変更の必要性と時期について、どのように考えているのか。

**答弁** 総合運動公園整備事業については、既に計画から30年以上経過している。今後の施設整備状況に合わせ、必要に応じて変更していきたいと考えている。

いとう けんじ  
会派 伊藤 研司



質問

常任理事国のロシアによる  
主権国家のウクライナへの侵略から

地方自治体議員は、未来を担う子どもたちのためにも、世界の中で私たちが置かれている現状を考えて活動すべきである。若狭湾には「もんじゅ」を含む14基の原発があり伊吹おろしが吹く時期にミサイル攻撃を受けたら東海～関西地方には住めなくなる危険性がある。他国からの侵略から市民、国民の命を保護するには高度な産業、最先端の半導体の製造拠点が必要だと考える。中国が台湾を武力攻撃して、中国本土と一体化しようとしているのは、台湾の最先端半導体製造の世界シェアが92%を占めていることに起因している。半導体工場の誘致により、中国や北朝鮮からの武力攻撃を防ぐことにつながるのではないか。敵地攻撃能力より高度な産業安全保障体制を整えるべきと考えるが、市の見解を問う。

2018年、台湾のUMC本社を訪問して、社長とお会いしており、本市と台湾の半導体産業との接点は小さくないと考えている。議員からもご意見を頂いた通り、さらなる半導体産業の誘致は、是非とも実現したいと考えている。また、国が支援する特定重要技術の一つとして「マイクロプロセッサ・半導体技術」が候補となっていることも追い風。半導体関連企業進出の情報を得られれば、トップセールスを実施する考え方がある。日本を代表する産業集積地として、選ばれる地域を目指していきたい。

わたなべ 渡辺 さとみ  
仁美



**人口減少対策について**

**高** 市は現状をどのように捉えているか。

桑名市の合計特殊出生率はほぼ全国平均と同じで1.32と年々減少傾向。人口減少は将来的に経済、社会に影響を与えるものと懸念している。

**答弁** また具体的な少子化対策は。

人口減少対策パッケージの中で検討するとともに、子ども・子育て支援事業計画の中でも来年度実施予定のニーズ調査を踏まえ進めていく。

**病児、障害児の家族を支える環境について**

**高** 病児、障がい児の家族やきょうだいへの支援は。

医療的ケア児等コーディネーターが定期的に家族の困り事がないかを尋ねている。昨年度開始した医療的ケア児のレスパイト支援事業は、保護者にきょうだいへの関わりを増やしてもらうことも目的としている。今後も家族全体を支えられるよう努めたい。

**質問** 子どもを3人育てられるまち

子どもの年齢が離れることで保育料が2人目半額や3人目無料にならない制度の撤廃は。

答弁 保育ニーズが高い水準で推移する中、まずは安心して預けられるよう待機児童対策を進めていく必要がある。3人目以降の全ての児童の保育料無償化についても影響額や国の動向も含めて考えていく

みず たに ま ゆき  
辯 水谷 真幸



## ■ 公共と個人の境目に対する 行政の役割について

**質問**

健康とお金の問題が個人の問題のように捉えられているので、現状、問題が表面化するまで介入はない。マイナスになるのは、その個人にとっても社会にとってもマイナスであるが、プラスになれば、社会にとってもプラスになる。マイナスになってから対応するのではなく、日常的にコミュニケーションを取り、プラスの状態にするアプローチはできないだろうか。健康とお金という誰にでもマイナスに転じうる重要な課題について、個人で抱え込むのではなく、行政が信頼できるパートナーとなり、相談に乗りながら、市民のウェルビーイングを高めていくことはできないのか。

**答弁**

介護、子育てなど複合的な課題に対し、市内各所に福祉なんでも相談センターを整備してきた。一方、地域の中での居場所づくりや健康維持の個人の取り組みなど行政が主体とならない課題については、まちづくり協議会や地区社協などの地域の仕組みが重要になってくると受け止めている。個人が抱える課題に対し、行政がどこまで関わることができるかは難しい点があるが、行政が直接実施できるものについては、市においてしっかりと取り組み、地域ある

無会派 伊藤 恵一

ワクチン接種でかえって感染しやすくなる(ADE)

①脳発達障害等子にマスクは絶対禁物！②20年先、次世代にどんな遺伝子異常が起こるか不明（等ワクチン禍の認識は）

質問

ワクチンは本人同意等で接種を行う事とされている。

【伊藤なるたか市長をリコールすべき！】との声も。

国保税を20～50%も増税、クレーム合問合せ件数は。7月19日から8月18日の問合せ件数は70件程度。

高 級

急速な水道料金値上で女性の怒り！市民の厳しい声

【伊藤なるたか市長リコール！】、基本料金20%、従量料金5%もこのコロナ禍で！値上への対応策は。

質問 算

23年1月より料金改定（値上）を実施させて頂く。

ワクチン4回目はBA.5に効かない！（週刊現代）

質問 算

①英国は11歳以下マスク着用義務なし、中学生も教室で未着用のルール②実におぞましい遺伝子組換子宮けいがんワクチンは（打つと逆に）その発症リスクが46%増加（FDA）ワクチン禍等への認識は

なりた くみこ  
成田 久美子



**持続可能な桑名市に向けて**  
令和3年度決算から見えてくる未来への具体的な展望を市長に問う。

市民の皆様のご理解とご協力をいただき、あらゆる分野で行財政改革に取り組み、その結果新市発足以来最も改善し、財政は劇的に改善した。そこで最優先に取り組むのが人口減少対策である。緊急的な一手として「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」を推し進める。

**子どもを3人育てられるまちについて**  
全国学力・学習状況における本市の結果とその要因は。

小学校では全国の平均正答率と比較し、やや下回り、中学では全ての教科で全国を大きく上回る結果となった。授業改善や自己肯定感の向上や安心・安全な学習環境づくり等の取組みが、学力向上による影響を与え、今年度の中学校の結果に結びついたと考えている。

**環境対策について**  
河川・公共用水域の水質を良好に保つための取組みについて

市内における河川の水質調査を定期的に行っており、大腸菌数についても調査し、良好な水質を確保

**桑風クラブ** まんじゅう 満仲 まさつべ 正次



**産業振興の充実を目指した  
多度南部地域の開発における課題について**

**高** 開発工業団地へのアクセス道路整備予定は。

**答弁** 令和3年度、県道御衣野下野代線の道路詳細設計が実施され、令和4年度は用地測量が実施される。県道四日市多度線は令和4年度、用地買収に向けて土地境界の確定作業が行われる計画である。

**高** 企業誘致における利害関係者間の調整について

**答弁** 商工課が、企業誘致のワンストップ窓口として府内関係部局だけでなく、県・工業用水確保や電気事業者等への取り次ぎも実施している。情報の集約を一元的に行い、迅速・積極的な対応ができるよう努めている。

**多度地区小中一貫校整備事業について**

**高** 用地確保は完了済みか！

**答弁** 用地確保の目途がつき、7月に施設建設事業実施事業者の公募を開始した。

**高** 遺跡調査のスケジュールについて

**答弁** 5月に委託業者と契約を行い7月から発掘作業を開始している。調査は令和5年1月末までかかる予定となっている。

**DB 方式による設計・施工一括発注の公募・選定・  
契約のスケジュールについて**

**みなみさわ ゆきみ**

**南澤 幸美**



**N T N多度山ハイキングコースの整備について**

**質問**

多度山にハイキングに訪れた方から「もう少し道路が整備されていたら登りやすい」というお声を頂いた。登山道の整備についての考えを問う。

多くの登山客が慣れ親しんでいる“眺望満喫コース”は、道路のアスファルト舗装が40年程度経過し、劣化や損傷が目立つようになってきた。また急な豪雨等の影響で、斜面の地くずれや落石が発生することも増加してきている。私有地も多く対応できない箇所もあるが、危険性や緊急性を考慮しながら優先順位をつけ、維持管理に努めている。なおN T Nと“健康づくり”をテーマに、包括連携協定を締結した。ネーミングライツのほか、山上公園の整備、ハイキングコースの定期清掃、案内看板等の整備やマップの作成等、取組みを行っていただくこととなっており、隨時、準備を進めて頂いている。

**P S A検診の実施について**

**質問**

泌尿器科の医師から、市の検診項目に前立腺がんを加えてはどうかと助言をうけた。P S A検査という方法で、血液により簡単に検査ができるところから、項目に加えてはと考えるが、市の考えは。

**答**

前立腺がん検診（P S A検診）は、自治体が行う

くら た あき こ  
**倉田 明子**

継  
質問  
答弁

### 持続可能なまちづくりについて

**アフターコロナ時代に向けた公共交通の取組みを問う。**

地域公共交通は地域社会経済を支えるベーシックインフラであり、まちづくり全体の中で人々の暮らしを充実させるものであるため、アフターコロナも既存の公共交通を維持、確保しつつ、人の流れを生み出し地域活性化させる交通サービスの在り方を検討していく。

**A I型オンデマンドバスの取組みを問う。**

前回実証実験をした西部南エリアにおいて今年度運賃有償の実証実験を予定している。他地域への展開は、地域からの要望を聞きつつも、既存交通事業者と慎重に協議を重ねていこうと考えている。

### シックプライドについて

**昨年開催された中学生議会（コロナ禍で意見交換会に変更）での提案に対するその後の市の対応は。**

100万円の予算を上限に実現したい内容を3点提案していただいた。①桑名駅自由通路内にベンチを設置し利便性向上を図る。②放置竹林問題に关心を持ってもらいPRを行う為、中学生、桑名工業高校生、NPO法人等が連携して桑名産の竹を使用したボールペンを製造、販売する。③ヘルプマーク普及啓発の動画を中学校に関わってもらって作成し、YouTubeや

The page features a blue header with the name '冨田 薫' (Tomohiro Kuroda) in white. To the right is a portrait photo of the mayor. Below the header, the text discusses measures for developing the area around the station, mentioning the need for mixed-use developments and incentives for businesses. The main body of text is followed by a large block of text detailing specific policies like setting up high-density land use zones and business promotion zones. At the bottom, there is a photograph showing a modern city skyline under a cloudy sky.

「子どもを3人育てられるまち」は令和4年6月に行った質問です。令和4年9月議会にて、令和5年度中に保育料が子どもの年齢構成等に関係なく2人目半額、3人目は無料となることが議論されました。

いは個人が実施主体となるものについては、積極的に支援していくことが課題解決に当たっての基本的な方向性であると考えている。

**小中一貫小学生が他人をケ落し同級生を敵とみなす**

小学校に受験体制を持ち込み、《せっさたくま》?!  
文部科学省が示す資料に用いられ、踏襲している。

でさせることを確認している。工業団地の排水は、3地点で22回の水質調査を行い、企業誘致の際、環境保全協定の締結をお願いする場合もある。